平成25年２月期 第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年９月27日

上場会社名	イオンモール株式会社		上場取引所 東
コード番号	8905	URL http://www.aeonmall.com/	
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)岡崎 双一	
問合せ先責任者	(役職名) 取締役管理担当	(氏名)梅田 義晴	TEL 043-212-6733
四半期報告書提出予定日	平成24年10月４日	配当支払開始予定日	平成24年10月31日

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

百万円未満切捨て

１．平成25年２月期第２四半期の連結業績(平成24年２月21日～平成24年８月20日)

(１)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年２月期第２四半期	77,046	6.1	18,907	2.7	17,753	1.1	9,400	6.2
24年２月期第２四半期	72,615	1.9	18,406	△1.2	17,564	△2.3	8,853	△15.3

(注)包括利益 25年２月期第２四半期 9,516百万円 (6.7%) 24年２月期第２四半期 8,918百万円 (－%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年２月期第２四半期	51.89	51.95
24年２月期第２四半期	48.87	48.85

(２)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年２月期第２四半期	589,424	202,024	34.1
24年２月期	543,761	194,474	35.6

(参考)自己資本 25年２月期第２四半期 201,174百万円 24年２月期 193,683百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年２月期	－	10.00	－	11.00	21.00
25年２月期	－	11.00			
25年２月期(予想)			－	11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

３．平成25年２月期の連結業績予想(平成24年２月21日～平成25年２月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,000	8.7	43,500	7.0	41,000	5.0	23,000	13.0	126.97

(注１)直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(注２)当社は、決算日を２月20日から２月末日に変更しており、平成25年年２月期は12ヶ月８日となります

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）: 無

新規 －社 （社名）－、除外 －社 （社名）－

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期2Q	181,148,807株	24年2月期	181,148,807株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	10,350株	24年2月期	10,270株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期2Q	181,138,510株	24年2月期2Q	181,128,145株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要による設備投資の増加や堅調な個人消費が景気を下支えし、内需主導の緩やかな回復基調で推移いたしましたが、長期化する欧州の債務危機問題や海外経済の減速を背景に、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、競争激化に伴うショッピングセンター（ＳＣ）間の格差拡大等、淘汰が進展するＳＣ業界において、当社グループは、新規事業拠点の拡大と既存モール収益拡大に取り組みました。

４月にイオンモール福津（福岡県）、６月にはプロパティ・マネジメント（ＰＭ）事業としてショッピングセンター ソヨカふじみ野（埼玉県）をオープンいたしました。

中国におきましても、４月に中国３号店となるイオンモール天津中北(天津市)をオープンし、好調に推移しております。

既存モールにつきましては、地域のお客さまニーズに基づいて実施しているリニューアルや、全国約120のモール（イオングループの国内のモール型ＳＣ名称を「イオンモール」に統一）で実施した統一セール「DO MALL！AEON MALL FES!」をはじめ、ブランド力を活かした集客向上の施策を推し進め、既存54モールの来店客数・売上とも前期を上回って推移いたしました。

また、国内外の新規開発案件確保も進展しており、今後加速する新規出店に向け、テナント誘致活動を推し進めています。

これらの取り組みの結果、営業収益は770億４千６百万円(前期比106.1%)となりました。営業原価は事業規模拡大の一方、コスト構造改革により511億８千８百万円(同104.9%)となり、営業総利益は258億５千７百万円(同108.6%)となりました。販売費及び一般管理費は国内外における成長施策の推進により69億５千万円（同128.5%）と増加しましたが、営業利益は189億７百万円(同102.7%)の増益となりました。

経常利益は、営業外収益が３億７千２百万円（同54.4%）、営業外費用が15億２千５百万円（同99.9%）となった結果、177億５千３百万円（同101.1%）となりました。

特別損益では、特別利益が前第２四半期連結累計期間と比較し20億５千５百万円の減少となりました。これは、前第２四半期連結累計期間において、地震保険受入20億３千２百万円等、20億５千５百万円の計上があったことによるものです。特別損失は前第２四半期連結累計期間と比較し34億５千７百万円の減少となりました。これは、当第２四半期連結累計期間において、スクラップ＆ビルドを計画しているイオンモール藤井寺の閉店に係わる費用10億４千５百万円（減損損失７億４千５百万円、店舗閉鎖損失引当金繰入額３億円）等、11億４千７百万円を計上しましたが、前第２四半期連結累計期間では、東日本大震災による建物・構築物等の回復費用等23億５千３百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額17億６千１百万円、既存モールリニューアルに伴う固定資産除却損４億１百万円等、46億４百万円の計上があったことによるものです。

以上の結果、四半期純利益は94億円（同106.2%）となりました。

なお、当第２四半期連結会計期間末における当社の運営・管理するショッピングモールは、国内59、中国３の計62となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して456億６千２百万円増加して、5,894億２千４百万円となりました。

これは新規モールの開設、将来の開発用地の先行取得等により有形固定資産を214億６千４百万円取得したことに加え、現金及び預金が238億４千６百万円、関係会社預け金（流動資産「その他」に含む。）が50億円増加した一方で、固定資産が減価償却により104億９千６百万円減少したこと等によるものです。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して381億１千１百万円増加して、3,873億９千９百万円となりました。

これは、長期借入金（１年内返済予定の長期借入金を含む。）が82億１千５百万円純増、社債（１年内返済予定の社債を含む。）が250億円純増したことに加え、専門店預り金（流動負債「その他」に含む。）が81億３千３百万円、設備支払手形（流動資産「その他」に含む。）が61億９千９百万円増加した一方で、短期借入金が56億５千５百万円純減、コマーシャル・ペーパーが70億円純減したこと等によるものです。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して75億５千万円増加して、2,020億２千４百万円となりました。

これは四半期純利益94億円の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して289億１千６百万円増加した373億５千６百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況等については、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、242億２千万円（前第２四半期連結累計期間234億１千２百万円）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が166億６百万円（同150億１千４百万円）、減価償却費が104億９千６百万円（同103億５千１百万円）、専門店預り金の増加額（「その他流動負債の増減額」に含む。）が81億３千２百万円（同94億５百万円）となる一方で、法人税等の支払額が71億８千３百万円（同107億２千１百万円）となったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、138億８千万円（同207億１千４百万円）となりました。これは、前連結会計年度にリニューアルオープンしたイオンモール倉敷(岡山県）の設備代金、当第２四半期連結累計期間にオープンしたイオンモール福津の設備代金の支払や開発用地の先行取得等により有形固定資産の取得による支出が136億５千８百万円（同215億３千２百万円）となったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、185億６千２百万円（同31億７千３百万円）となりました。これは、長期借入金による収入が254億円（同150億円）、社債の発行による収入が250億円（同増減なし）となる一方で、長期借入金の返済が171億８千４百万円（同100億８百万円）、短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの純減額が126億５千５百万円（同増減なし）、配当金の支払額が19億９千２百万円（同18億１千１百万円）となったこと等によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループでは、2011年４月に新たな成長機会の獲得に向け、飛躍的な成長を実現できる経営基盤の構築を目的とした中期３ヵ年経営計画（2011年度～2013年度）を策定いたしました。イオングループのモール・ビジネスにおける重複機能の統合による事業競争力の強化と効率化に向けた取り組みを開始し、新規事業拠点の拡大と既存モールの収益向上による国内での事業基盤のさらなる拡充、中国・アセアン地域におけるモール・ビジネスの展開に向けた基盤づくりを推し進めております。

当期の今後の取り組みにつきましては、上期に実施したイオンモール千葉ニュータウン（千葉県）に続き、イオンモール宮崎（宮崎県）、イオンモール盛岡(岩手県）、イオンモール成田（千葉県）、イオンモール水戸内原（茨城県）等、５箇所の既存モールのリニューアルを実施するとともに、イオングループのディベロッパー事業における効率的な事業運営を目的とした機能統合をさらに推し進め、収益拡大を図ってまいります。

さらに、イオングループにおけるモール開発の集約、復興が進む東北エリアの新たなまちづくりへの参画や新規モール開発の加速化、ＰＭ受託物件の拡大を進めてまいります。

中国事業につきましても、2014年２月期に予定している天津、広東省の新規２モールの開設とともに、北京・天津、河北省、河南省、安徽省、山東省、江蘇省、浙江省、広東省、湖北省での開発を促進いたします。アセアンでは、2014年にモール開設を予定しているカンボジアに加え、ベトナム、インドネシアにおきましても、モールの早期開設に向けた取り組みを進めてまいります。

2013年２月期通期業績予想につきましては、2012年４月５日に公表いたしました「2012年２月期 決算短信」の業績予想から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2012年２月20日)	当第２四半期連結会計期間 (2012年８月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,600	32,446
営業未収入金	3,254	2,657
その他	17,114	28,380
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	28,962	63,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	274,173	278,204
土地	144,992	151,979
その他（純額）	14,411	13,744
有形固定資産合計	433,577	443,928
無形固定資産	3,018	3,316
投資その他の資産		
差入保証金	54,403	54,147
その他	23,917	24,671
貸倒引当金	△117	△116
投資その他の資産合計	78,203	78,702
固定資産合計	514,799	525,947
資産合計	543,761	589,424

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2012年２月20日)	当第２四半期連結会計期間 (2012年８月20日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	5,112	6,274
短期借入金	5,655	―
コマーシャル・ペーパー	7,000	―
1年内償還予定の社債	―	10,000
1年内返済予定の長期借入金	28,364	23,809
未払法人税等	7,310	7,992
賞与引当金	538	279
役員業績報酬引当金	108	26
その他	46,882	61,590
流動負債合計	100,973	109,972
固定負債		
社債	33,000	48,000
長期借入金	105,891	118,662
退職給付引当金	165	191
店舗閉鎖損失引当金	―	300
資産除去債務	6,114	6,175
長期預り保証金	102,877	103,854
その他	264	242
固定負債合計	248,314	277,426
負債合計	349,287	387,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,683	16,683
資本剰余金	16,992	16,992
利益剰余金	159,910	167,318
自己株式	△27	△27
株主資本合計	193,559	200,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	264	292
為替換算調整勘定	△140	△86
その他の包括利益累計額合計	124	206
新株予約権	124	157
少数株主持分	665	692
純資産合計	194,474	202,024
負債純資産合計	543,761	589,424

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2011年２月21日 至　2011年８月20日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2012年２月21日 至　2012年８月20日）
営業収益	72,615	77,046
営業原価	48,799	51,188
営業総利益	23,816	25,857
販売費及び一般管理費	5,409	6,950
営業利益	18,406	18,907
営業外収益		
受取利息	258	205
受取退店違約金	322	104
その他	102	62
営業外収益合計	683	372
営業外費用		
支払利息	1,326	1,267
その他	199	257
営業外費用合計	1,526	1,525
経常利益	17,564	17,753
特別利益		
受取保険金	2,032	－
その他	22	0
特別利益合計	2,055	0
特別損失		
減損損失	－	745
災害による損失	2,353	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,761	－
店舗閉鎖損失引当金繰入額	－	300
固定資産除却損	401	90
その他	87	10
特別損失合計	4,604	1,147
税金等調整前四半期純利益	15,014	16,606
法人税、住民税及び事業税	6,540	7,859
法人税等調整額	△418	△686
法人税等合計	6,122	7,173
少数株主損益調整前四半期純利益	8,892	9,433
少数株主利益	39	33
四半期純利益	8,853	9,400

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2011年２月21日 至　2011年８月20日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2012年２月21日 至　2012年８月20日）
少数株主損益調整前四半期純利益	8,892	9,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	28
為替換算調整勘定	12	53
その他の包括利益合計	25	82
四半期包括利益	8,918	9,516
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,878	9,483
少数株主に係る四半期包括利益	39	33

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2011年２月21日 至　2011年８月20日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2012年２月21日 至　2012年８月20日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,014	16,606
減価償却費	10,351	10,496
減損損失	－	745
災害損失	2,353	－
受取保険金	△2,032	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,761	－
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	－	300
受取利息及び受取配当金	△272	△219
支払利息	1,326	1,267
営業未収入金の増減額（△は増加）	207	605
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△2,127	△6,274
営業未払金の増減額（△は減少）	787	1,161
その他の流動負債の増減額（△は減少）	7,560	7,836
その他	676	1,191
小計	35,608	33,717
利息及び配当金の受取額	35	40
利息の支払額	△1,271	△1,168
災害損失の支払額	△237	△1,185
法人税等の支払額	△10,721	△7,183
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,412	24,220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,532	△13,658
投資有価証券の取得による支出	－	△280
差入保証金の差入による支出	△527	△207
差入保証金の回収による収入	838	704
預り保証金の返還による支出	△2,662	△1,794
預り保証金の受入による収入	3,843	2,750
その他の支出	△882	△1,596
その他の収入	209	201
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,714	△13,880
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額（△は減少）	－	△12,655
長期借入れによる収入	15,000	25,400
長期借入金の返済による支出	△10,008	△17,184
社債の発行による収入	－	25,000
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,811	△1,992
少数株主への配当金の支払額	△6	△6
その他	0	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,173	18,562
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53	13
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	5,817	28,916
現金及び現金同等物の期首残高	27,631	8,440
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,448	37,356

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
当社グループは、モール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。